

2010年度 ATJ体験記

氏名：M. M.

卒業年月：2010年3月 卒業学部・学科：学芸学部 英語英文学科

派遣先学校名：Kambrya College

ATJの期間：2010年4月5日～2011年4月3日（更新なし）

I. ATJレポート

① ATJ参加決定から出発までの準備期間（英語、日本語・日本文化に関わる学習）

現地で一番困ったのは英会話でした。コミュニケーションが成立しなかったら、簡単な仕事をするのも一苦勞です。日本にいる時から少しずつ勉強はしていましたが、私は慣れるのに3ヶ月かかりました。

② ATJ参加決定から出発までの準備期間（渡航手続き関係）

ビザは全てJTBさんをお願いしました。必要な書類を期日までに集めて、JTBに送ると約1ヶ月でビザが送られてきます。

③ ATJとして経験した具体的業務

- ・ VCEクラスへ毎回参加
- ・ 12年生のための教材作り（readingを作ったり、listeningの音声を録音したりなど）
- ・ テストや宿題の添削（7年生～12年生）
- ・ 空いた時間に7～9年生に参加
- ・ 先生が休みの時に代わりに授業をする。
- ・ 文化活動（習字、おりがみなど）の補助
- ・ 放課後に11年生、12年生とレッスンをする（speaking、reading、文法など）

④ A T J 以外の活動

(記載なし)

⑤ ホームステイ

私は全部で5つのお家にお世話になりました。学校の先生のお家や生徒のお家です。どの家族とも忘れられない思い出がありますし、皆本当の家族のように接してくれました。

⑥ 健康面、治安面で注意すべきこと

私は健康面で特に問題はありませんでしたが、とにかく空気が乾燥していたので冬によく肌が荒れました。不安な人は自分に合った薬など絶対持っていった方がいいと思います。メルボルンは比較的安全な町だとは思いますが、夜は一人で出歩かない方がいいです。また、エリアによって危険な場所もあるので、しっかり情報を集め、自分の身は自分で守るよう日ごろから心がけておくといいと思います。

⑦ 長期休暇の過ごし方

ホリデー中はホストと過ごしたり、友達と旅行に行ったりしました。休暇中は飛行機代や宿代も高くなるので、前もって予約しておくか、セールの際に購入する方がいいと思います。

II. A T J の感想

① 最も楽しかったこと、最も思い出に残っていること

- ・ 生徒が日に日に成長していく姿はこの一年間で最も嬉しかったことです。少しずつ日本語が好きになってくれたり、自信を持つようになっていってくれたりするとこちらも元気をもらえました。
- ・ 地震の時に募金活動を生徒達から進んでしてくれたこと。いつも気にかけてくれて、生徒達自らが提案して募金活動をしてくれました。毎日放送されるニュースで不安や心配

が募る一方で、たくさんの人の優しさや暖かさに支えられた時でした。

- ホストファミリーとのフットボール観戦。それまであまり好きじゃなかったのですが（なんか殴ってばかりだから）、開幕戦を実際観に行って、好きになりました！一度行ってみてください！また、ホストファミリーと過ごす時間は今思い返してみると楽しかったです。

② 辛かったこと、最も苦労したこと

- 学校に派遣されて二日目に、先生の代わりに授業をするよう頼まれたこと。
授業が始まる3分前ぐらいに頼まれ、当時英語もそれほど話せなかったのでかなり困りました。しかもやんちゃな生徒が多いクラスを一日3つも教えたので、本当に困り果てました。ただ今となってはネイティブの生徒相手に授業ができたことはいい経験だったと思っています。
- 学校側と教育省側で、私の任期に食い違いがあったこと。
学校は9ヶ月だと思っていて、教育省側は12ヶ月と最初言っていたのに、途中から「好きにして」と丸投げでした。ホストファミリーも見つけなければいけないし、学校のお金も足りなくて大変でした。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

- お皿を洗う時に泡を洗い流さない。
- 店内があまりきれいじゃない。
- 電車・バスがすぐに遅れる。

Ⅲ. A T J参加希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコンは仕事をするにも連絡をするにも必要不可欠だと思います。また、100均で売っているかわいいシールやハンコなどは、生徒から喜ばれました。私は先生に頼まれて日本の雑誌や新聞なども持って行って授業中に役立ちました。

生活面では、自分に合う薬や化粧水など必要だと思うのならば持って行った方がいいです。

② これからA T Jに参加しようと思っている後輩へのアドバイス

辛く苦しいことももちろんありますが、それを忘れさせてくれるすばらしい出来事もたくさんあります。もし機会があるのなら、是非参加してほしいです。私自身、人生観が変わるような思いを何度もしました。また、日本という国を母国として実感できる1年、または9ヶ月になるはずです。

IV. 進路

① 現時点での進路（A T Jの継続、就職先など）

地元の保育園で補助教員として働きます。1歳児クラスを担当しながら4、5歳児の英語レッスンをします。

② 将来の夢

地元で教員として働けたらと思っています。

2010年度 ATJ体験記

氏名：S. Y.

卒業年月：2010年3月 卒業学部・学科：学芸学部英語英文学科

派遣先学校名：Brighton Secondary College

ATJの期間：2010年4月6日～2011年12月2日（更新：有）

I. ATJレポート

① ATJ参加決定から出発までの準備期間（英語、日本語・日本文化に関わる学習）

特に何もしていきませんでした。唯一、お寺や日本の高校など、日本について紹介できそうな写真を撮っておいたけど私の学校では使う機会がなかったです。学校によってアシスタントの任される仕事は全く違うので、前もって準備する必要はないと思う。しても無駄になることがあるので…。

② ATJ参加決定から出発までの準備期間（渡航手続き関係）

ビザに関しては大学から勧められたこともあり、JTBに依頼して行った。JTBが必要な書類など全て調べてくれ、私は言われたものを用意するだけだったので簡単でした。しかし、値段がトータルで7万以上？もかかった。私の場合、卒業前の春休みに1ヵ月間海外に行く予定があったので、自分で申請する余裕がなかったからJTBに頼んで良かったと思う。でも他の大学からのATJはみんな自分で申請していたし、英文の資料を読んだり少し大変だけど時間に余裕のある人は自分で申請したほうがかなり安くなっていいと思う。

③ ATJとして経験した具体的業務

授業に入って机間巡視し、生徒のサポート…漢字学習の時に書き順や漢字の形をチェックする、ライティングの時間に単語や文法などのヒントをあげる（生徒が習った文法などに言い換えてあげる）。テキストの問題を解いている時に間違いを指摘し、ヒントをあげる。

留学生などの途中から日本語のクラスに入った子や遅れている子を授業中、個別に教えてあげる。テストの採点。作文の添削。テストの問題、練習問題作り。(問題作りは、まず私が先生から指示されたトピックで本文や問題を作って、そこから先生が言い換えたり書き足したりして問題を作っていた。)スピーキングの練習。放課後、個人的に教えてほしい生徒の家庭教師(お金がもらえます)。

④ A T J 以外の活動

特に何もしていない。友達には地域のスポーツクラブに入ったり、ダンスを習ったり、ジムに通ったりしている人もいた。私の場合、土日はよくA T Jの友達と市内に出かけていた。

⑤ ホームステイ

学校の先生の家で1ターム、先生の友達の家で1ターム、それ以降はルームシェアをしていた。ホームステイは英語を伸ばしたりするためにはいいと思うけど、やっぱり気をつかう。どこかに出かけたくても、駅まで遠い人や足がない場合は送ってもらわないといけないういしそういった面で不便。ご飯も基本的には出されたものを食べないといけないので、太ってしまった。ホストファミリーによってホームステイの良し悪しが決まることもある。ルームシェアは自由で楽だけど、孤独を感じる事が多く、英語も全く伸びない。でもこれは住むシェアハウスにもよると思う。

⑥ 健康面、治安面で注意すべきこと

治安については夜の人通りの少ない場所以外は日本のように安全だと感じた。イタリアやフランスではスリや置き引きが大発生しているが、メルボルンではそれほど起きていないと感じる。もちろん日本よりかは気を付ける必要があると思う。夏場は特に日差しがジリジリ痛い。肌が敏感な人は日本の日焼け止めを忘れずに。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇はほとんど旅行に行っていた。ゴールドコースト、タスマニア、アデレード、ニュージーランドに行った。

II. ATJの感想

① 最も楽しかったこと、最も思い出に残っていること

11年生の生徒に付いて、エアーズロックに行ったこと。知っている生徒がほとんどおらず、結構孤独だったけどそれなりに楽しかった。

② 辛かったこと、最も苦勞したこと

暇な時間、孤独との戦い。日本では大学、バイト、友達との予定など毎日忙しく過ごしていたのに、こっちに来て放課後と土日にたっぷり自由な時間を持つことになった。でもいざ自由な時間を持っても、バイトできない、友達もそんなにいない、趣味もない…やることなく気が狂いそうになった。私はこちらのテレビ番組があまり好きじゃないのでテレビもほとんど見なかった。日本だったら…なんて考えたら何度も帰りたくなった。しかもこちらはインターネットに使用制限があることが多くて、自由にインターネットを使うことすらできない。自由な時間をどうやって過ごすかはこちらでやっていくために大きなポイントだと思います。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

放課後、先生の帰宅の早さ。病気じゃなくても有給を当たり前を使う。有給余ってるから次の月曜日は休も一っとな感じで…。

(私の) 学校には昼ごはんを食べられる教室や食堂がなく、猛暑の日でも極寒の日でも生徒はみんな外で食べなければいけない。そのため雨が降ると昼休みは短くなって帰る時間が早まる。

先生なのに胸がガッツリあいた度派手な服を着ている。レギンスをレギンスのみで履くOZガール。たまに裸足で街中を歩いている人がいる。公園ならともかく街中とか汚いし、危ないのに?…。

シティーに行くとどこの国か分からないくらいたくさんの人種が混ざり合っている。移民でできた国だから、差別とか少ないのかと思っていたら、意外にそういう国だからこそ差別が多いと感じた。町を歩いていると奇声をあげる若者?がいる。日本にもいるけどこちらのほうが明らかに多い気がする。フードコート席などがとにかく汚い。みんな食べた

ものを自分でゴミ箱に捨てないし、ゴミが散乱してることもしょっちゅう。移民が多いから色々な国の調味料や食材が買える。

Ⅲ. A T J参加希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

自分のパソコンは日本語が使えることや独占できるという点において学校や家でインターネットをしたり、問題を作ったりするときに役立った。

② これからA T Jに参加しようと思っている後輩へのアドバイス

派遣される学校や地域によってこちらでの生活は大きく違います。ど田舎に派遣される人も多いと思いますが、田舎でやるのがなくても生きていけるかどうかなどもしっかり考えたほうが良いと思います。私の場合は市内から電車で30分で、A T Jの中で1、2番目に都会寄りに住んでいました。しかし、初めのホストが学校から車で30分の田舎に住んでいて、その時は自由にどこかに行くことができず苦しかったです。2番目のホストの家とその後のシェアハウスの近くには店もたくさんあり便利なところでしたが、こっちに友達が少ないのと、趣味がないことで、暇なことが多くこちらの生活をあまりエンジョイできず不満ばかり言っていました。家が金持ちで仕送りをバンバンもらえる人は別ですが、ボランティアということで金銭面でも厳しいので、お金を使うような娯楽ができないことも覚悟しておかなければいけないと思います。（お金さえあれば楽しむ方法はいくらでもあると思います。）

こっちでローカルの友達を作って、英語を伸ばせたらいいなあなんて来る前は考えていましたが、実際に会うのは生徒&先生だけの生活でした。地元の同世代の人と知り合ったりする機会は自分で行動しない限り全くないと思っていいです。私自身、初めは英語を伸ばしたいから英語漬けになるべきだという気持ちがありましたが、友達を作る方法も分からず、ホームシックになり、途中からは英語のことはさて置き自分なりにこちらの生活を楽しもうと決めました。そして、選んだのが日本語生活です。日本人の先生とドイツ人の日本語ペラペラの先生がいたので学校でもその先生たちと休み時間などに日本語で雑談。（もちろん生徒とはほとんど英語で話さなければいけませんでした）。そして、こちらに留

学している日本人や日本語を勉強している同世代の OZ と運よく友達になったのでたまにその人たちと遊んだりもしていました。そして、暇な時は生徒からもらった日本のドラマを見たりしていました。オーストラリアに来てまで何してるの？って思うこともあるけど、私なりに生活を楽しむためにはこの方法しかありませんでした。でもこちらの生活を楽しめるかどうかは本当にその人次第だと思います。好奇心旺盛で何にでも挑戦して、一人遊びの楽しめる人はやっつけていけるはずですよ。頑張ってください。

IV. 進路

① 現時点での進路（ATJの継続、就職先など）

今年の5月から12月まで同じ学校でアシスタントを続けます。ATJとしてではなく、ワーホリビザを取得し学校との直接契約です。（ラッキーなことに私の学校はホームステイ代が週200ドルなのでそれを私がもらえます。プラスお小遣い週40ドルの計週240ドルで生活しています。ホストに200ドルも渡す学校はほとんどありません。無償の学校もあるぐらいです。）

② 将来の夢

今年の10月にオーストラリア人と結婚する予定です。なので将来はパートナービザを取得してオーストラリア(アデレード)に移住します。(ATJ期間に出会った人ではありません。)

2010年度 ATJ体験記

氏名：M. S.

卒業年月：2009年03月 卒業学部・学科：現代社会学部 社会システム学科

派遣先学校名：Williamstown High School

ATJの期間：2010年04月～2010年12月18日（更新なし）

I. ATJレポート

① ATJ参加決定から出発までの準備期間（英語、日本語・日本文化に関わる学習）

日本語教師の資格も取り終わっていたので、特にはしませんでした。

② ATJ参加決定から出発までの準備期間（渡航手続き関係）

VISAの取得に忙しかったです。学校からJTBを紹介されると思いますが、私は自分でやりました。自分でも大丈夫！充分できますよ！高いお金を出してJTBにやってもらうなら、その分のお金をオーストラリアでの資金にしましょう☆戸籍を英語に直すフォームなどインターネットで調べれば詳しく出てきますし、分からないことは向こうの担当者の方も助けてくださいます。

健康診断は、生理の場合、検尿で反応が出てやり直しや終わったからになるので、注意しましょう。

③ ATJとして経験した具体的業務

教材作成、先生の補助、休み時間にスピーキングの練習、など。

④ ATJ以外の活動

ホームステイ先の子に家庭教師をしていました。（次のホストに移動後も）

⑤ ホームステイ

私は、全部で3つの家庭にお世話になりました。生徒の家と、近所の小学校の家庭です。次のホームステイが決まってない、ということがよくあります。家が決まっていなくても不安だと思いますので、しつこい位に先生に見つかりましたか、などと確認しましょう！私は本当にホストに恵まれました。移動後にご飯食べに行ったり、映画見に行ったり、つながりを持ってくれました。

⑥ 健康面、治安面で注意すべきこと

日本語が使える病院がシティにいくつかあります。何かあったら、病院に行きましょう。保険に入っていれば、大丈夫です。手続きも病院でしてくれますよ。私も何度か行きました。[旅先でダニにかまれ、寝れない位痒くなったり。。。]

私は、シティに近いところに配属されたので、治安も特に心配することはありませんでした。

⑦ 長期休暇の過ごし方

冬休みはウルルに行きました。春休みは一時帰国しました。夏休みはパース方面に行きました。クリスマスや土日はホストと一緒に旅行に行きました。とにかく充実していました！

II. ATJの感想

① 最も楽しかったこと、最も思い出に残っていること

- ・ 今から思うとすべてが思い出です。ホスト先の生徒との毎日の通学や学校から帰っホストマザーとのおしゃべり、最後に生徒がサプライズでパーティーをしてくれたこと。
- ・ 大陸を横断、縦断する電車に乗れたのはいい経験！

② 辛かったこと、最も苦勞したこと

- ・ Y r 8 はみなさん苦勞すると思います。授業中に「日本は戦争で負けたくせに」などの

暴言を言われるのもしょっちゅう。

- ・ 次のステイ先が決まらずに、一軒目でのステイ期間を延長してもらうことになったときは、口ではいいと伝えてくれてても、困ってるのがわかって、辛かった。
 - ・
- ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

- ・ 食べ物を粗末にする
- ・ 生徒は自分で車を運転して学校にくることもある
- ・ 受験生でもあまり焦らない
- ・ 保護者が成績などについて言うてくる
- ・ 教習所がなくて、いきなり親が助手席について車に乗り始める。
- ・ 飲酒運転が OK。車社会なので少し飲んで運転してもいい。

(※酒気帯び運転の許容範囲等法定基準については、各自必ず確認をしてください。)

Ⅲ. A T J 参加希望者へのアドバイス

- ① 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

地球の歩き方→重いけど、必要です。

ウィンドブレーカー→ウルルで大活躍

本→全く本を読まない人間でしたが、オーストラリアで趣味が読書になりました。

折り紙の本

雑誌→男の子用のも忘れずに！

写真→ごく普通の食事の写真などいいかも。

- ・ 100円ショップのような、痒いところに手が届く的なところがないので、色々持ってくると思います。旅行に行くときのバックパックや寝袋などは、現地で購入前にまずホストに相談！私はホストの友達に借りることができました！！
- ・ ウルルに行くには、6月の休みがベストらしいですよ！
- ・ シールやスタンプを持っていきましたが、セカンダリーではあまり使いません。
- ・ シャンプーなどは旅行用を持って行って、現地で購入が賢いです。23キロまでしか持

てないので。

- ・日本の子がどのように漢字を習っているか、何年生でどんな漢字を知っているかに興味を持って子もいるので、漢字ドリルなど持って行くといいかもしれないです。
- ・想像以上の乾燥です。すぐに顔の皮がむけてきます。化粧品はたっぷりと持って行きましょう。パックも！！あまりに悩んだときは、病院に行くと薬くれますよ！

② これからATJに参加しようと思っている後輩へのアドバイス

- ・すべてに感謝の気持ちを忘れずに！

いざ行くと、「週に40ドルしかもらってないし」みたいに言う人がいますが、それを承知で来ているはずですので、そのように言うのはやめましょう。ホストに対しても同じです。異国の人を受け入れるのはとても大変なことです。感謝の気持ちだけは常に持っていてほしいです。

- ・何かあったらすぐ相談！

私は、ステイ先の子供以上に、ホストマザーと友達のように仲良くなりました。何でも相談しましょう。

- ・友達を作りましょう。

簡単なようで難しいです。私は、student teacher と仲良くなり、最後まで関係が続きました。縁を大切に！

- ・積極的に！

私の同期は、長期（短期も）海外留学経験がある人が多かったです。でも、初心を忘れずに、何事も積極的に！！

- ・どのくらいのお金が必要かみなさん気になるかと思いますが、旅行に行かなければ、学校からの支給分です。（私は、海外のお菓子が好きでないので余計にかもしれませんが、週末は飲みに行ったり、映画行ったりしていました。）コンビニなどもよくあるってわけでないで、あまり使う機会がないと思います。

IV. 進路

① 現時点での進路（A T Jの継続、就職先など）

就職活動中です。

向こうにいるときから就活を始めるのがベストです。

② 将来の夢

いずれは、日本語教師になりたいです：）日本だと、パートからのスタートなので、問題ですが。